

県立銚子商業高校



船橋支部
吉川 徹



「高校出前授業」 (県立銚子商業高校)

去る平成 23 年 12 月 15 日に、3 年生(内定者約 60 名)を対象に約 1 時間、年金を中心とした授業を実施しました。

私もセミナーは多数経験しており人前で話すことはそれほど苦手ではありませんが今回の相手(対象)は高校生・・・企業の経営者・人事担当者どころか社会人でもなく、まして未成年であり、年金保険料を払っていない世代に対し、いかに興味をもたせるか?非常に頭を悩ませました。しかも当時はニュース等で年金支給開始年齢の見直し(68 歳から支給)案の検討など、若い世代には、「年金保険料は払うだけ無駄」、「将来もらえない」などマイナスイメージが定着する環境でした。

その中で、正しい年金の知識や将来の老齢・障害・死亡といったリスクに対し、いかに必要な制度かを認識してもらいたい。せっかく私が授業するからには将来、この子達が前述のリスクと直面した時に、年金がもらえない(生活に困窮する)といった状態になってほしくない。という強い思いがありました。

今回の授業を実施するあたり、特に気をつけたことは、「専門用語をなるべく使わない」、「教育 TV のような話し方をしない(フランクに話す)」、「簡単な質疑応答を含めた参加形式とする」、「ポイントを絞り、数点のキーワードをインプットしてもらう」ことでし

た。複雑な内容にしないことを念頭に置いたからです。そして、授業の終わりに前述の困ったことが生じたら一人で悩まずに事前に社会保険労務士・各関係機関に相談し、不利益が生じないようにとのメッセージを残し、終了いたしました。次回このような機会があれば更に工夫し学生と一体になった授業(時間)になるよう工夫したいと思いました。

今回のような出前授業が県内全ての大学・高校等を実施され、社会人になる前に労働法や社会保険といった制度を学ぶ機会がより拡大することが非常に大切だと感じました。

